

記載例（子ども食堂 運営補助・開設枠）

- 様式第1号の2（第7条関係）

事業計画書

団体（又は個人）の名称	〇〇食堂実行委員会	主催団体名を記載。
代 表 者 名	代表 熊本 花子	
設立時期・活動始期	平成28年（2016年）年2月	
会 員 数	会員 45 名（うち、運営に携わるもの15名）	
申請事業名（仮称可）	〇〇食堂	
活 動 目 的	実施場所である〇〇校区は、核家族化や共働き世帯の家庭が増加している地域である。そのような世帯や子どもを主な対象とし、子どもの孤食や孤立を防ぐことを主な目的とする。 また、生活に困難を抱える子どもの支援も目的とする。 子どもの貧困対策、子どもの孤食防止、子どもの居場所づくり、ひとり親支援、地域住民の繋がりづくり、多世代交流 等実現したいことや解決したい課題を、社会的背景、地域の実情等を踏まえ活動目的を記載。	
活 動 内 容	子ども達の孤食や孤立防止のために、食育の観点に配慮し、栄養バランスの取れた食事を提供する。また、子ども達に、積極的に調理に参加してもらい、生活力の向上を図る。 ・食事の提供、食育活動、学習支援、悩み事相談、多世代交流、生活困窮家庭への支援 等活動内容を記載。	
助成を受けたい活動内容とその理由	（開設枠） 開設にあたり必要な炊飯器、フライパン、食器等の備品、調味料等の購入費に充てたい。 （運営補助枠） フードバンクや近隣住民から食材の寄付を頂いているが生鮮食料品の調達が高いため、生鮮食料品の購入に使用したい。また、実施場所の〇〇公民館の使用料に充てたい。	
主 な 活 動 場 所	〇〇公民館（熊本市〇〇区〇〇） 面積〇㎡、最大収容人数〇名程	
主 な 参 加 者 層	子どもから大人までどなたでも対象とする。 （これまでの実績では、小学生が8割程である。）	
広 報 ・ 周 知 方 法	・ 〇〇小学校、近隣スーパー、町内掲示板等でチラシを掲示。年度初めには、全校生徒にチラシを配布してもらっている。	

	・ F acebook やホームページで広報 ・ 主任児童委員や民生委員にも情報提供
開 催 回 数 ・ 頻 度	毎月第3土曜日 11時～14時に開催 年間計12回予定 開催日時について、必ず記載
活 動 の 継 続 性	食材は、近隣の農家や企業からの寄付により賄うことを基本とする。Facebook やホームページで活動報告を行うことで、食材、スタッフ、利用者を確保できるよう広報に力を入れる。 食材、資金、スタッフ、利用者の確保、自己収入の増加、他団体との連携体制等、一定の計画性があることを記入。
今 後 の 活 動 の 展 開	子どもたちから開催回数を増やして欲しいとの声が多数あり、子どもの居場所づくりの必要性を感じている。人員や食材等の充実に合わせて、開催頻度を拡大していきたいと考えている。 事業の広域化や支援内容の充実（活動規模、利用者のニーズを受けての変更点、）を図るための計画、数年後の事業展開の構想を記入。
関係団体や機関等との 連 携 体 制	〇〇ネットワーク、〇〇の会、〇〇自治会、〇〇小学校、民生委員、主任児童委員 提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連携を（予定）している連携先を記入。
活動の独自性・先進性	子どもの発想力や主体性を育てるために、子ども達からやりたいと提案のあったことを尊重し、運営スタッフはそれを見守るようにしている。 また、できるだけ子どもたちにも手伝いをお願いし、簡単な調理ができ、子ども達の生きる力を育むよう心掛けている。 事業の独自性や先進性（困難を抱える子どもや家庭への支援、食育、学習支援、多世代交流など）、団体の特性を記入。
模 範 的 な 取 組	地域に根差した活動とするため、校区の小学校や民生委員、自治会に、毎回活動報告を行い、活動への理解・協力を得られるようにしている。

見 込 ま れ る 効 果	・子どもの参加延べ人数 ○名 ・子どもが調理できるメニュー数 ○品 ・自己肯定感の向上 ○% ・ボランティアの参加延べ人数 ○名 ・子ども達の生活力の向上、自己肯定感の向上を目指す。 ・ボランティアは、できるだけ近隣から募り、子どもたちを地域全体で見守る意識を醸成する。 事業実施を通して見込まれる効果を数値や文章で記入。 実績報告時に、結果を成果として記載していただきます。
参 加 費 ・ 会 費	参加費は、子どもはお手伝いをすれば無料、大人は200円とする。会費は無料。
衛 生 管 理 体 制 ※第2条1項6号の活動 に対し、助成を受けよう とする場合のみ記入	・福祉給食サービス実施届を提出済み。提出時に、〇〇について相談し、助言を受けた。 ・衛生管理責任者を設置している。 ・衛生管理のチェックリスト及び緊急時の連絡先リストを、スタッフが見えるところに掲示し、チェックリスト記載事項に十分留意して、食事を提供している。 ・手指の洗浄・消毒、マスクの着用を徹底している。 ・初回利用者には、アレルギーがないかを必ず確認している。 ・万一の事故に備え、〇〇保険に加入 ・実施時は、最低〇名、平均〇名で実施 ・福祉給食サービス実施届の提出が必須。提出済みと記載。 ・食品衛生責任者など他に資格がある、講習を受講した場合は、その名称を記載。 ・事業実施時に対応する運営スタッフの人数を必ず記載。
当該助成金の助成回数	2回（令和2年度）
他 の 助 成 金 等	無し ・ 有り（ 〇〇助成金 ）

民間の助成金を受けている場合、その名称を記入。
同事業に対して、市の助成金を受けている場合は、助成の対象となりません。